



つがるの食の魅力を発信

つがる市 観光物産展



1



3



2



4

つがる市観光物産展「春のうまいもんまつり」が4月28日、29日、イオンモールつがる柏で開催され、多くの親子連れらが買い物を楽しんでいました。このイベントは東北新幹線全線開業つがる市活性化協議会（伊藤良二会長）が地元の食の魅力を広くPRすることを目的に主催。会場には、つがる市内を中心に姉妹都市の北海道白老町など21のブースが軒を連ね、訪れた人は、牛蒡麺やアップルパイなどの特産品を買って求め、地元の食を堪能していました。

また、同会では売上金の一部を東日本大震災の義援金として日本赤十字社青森県支部に寄付しました。

- ①地元のグルメを味わう来場者
- ②特産品ブースを巡って試食や買い物を楽しむ
- ③柏レイソルのグッズが当たるキックターゲットゲーム
- ④つがるちゃんもPR活動
- ⑤パルンアートも大人気
- ⑥売上金の一部を寄付する伊藤会長(右から2人目)ら



5



6

花を大切に育てて

市農業士会が花壇苗を贈呈



花壇に苗を植える児童たち

花を育てることを通じて「環境の美化」や「育てること」の大切さを学んでもらおうとつがる市農業士会（太田英樹会長）が市内8小学校に地元で生産された750鉢の苗を贈りました。

5月9日、柏小学校（猪股義仁校長）で行われた贈呈式には4年生57人が参加し、農業士会副会長の佐々木浩巳さんから児童代表に苗が手渡されると、高杉能明君が「きれいな花をいっぱい咲かせ、学校を花で賑やかにしたいです。水やりを頑張り大切に育てます」とお礼の言葉を述べました。その後、児童たちは正面玄関前の花壇に色鮮やかなマリーゴールド、ペチュニア、サルビアの苗を丁寧に植え付けていました。